

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2010 助成の概要と推薦理由

助成番号 10-2-1

プロジェクト名 長期入院の子どもと家族の生活の質を高めるための
遊びのボランティア派遣とその普及啓発事業-2
団体名 特定非営利活動法人
病気の子ども支援ネット遊びのボランティア
代表者名 坂上 和子
所在地 東京都
助成額 280万円
助成期間 2010年10月1日～2011年9月30日
設立年 1991年
URL <https://www.hospitalasobivol.jp//>



子どもの成長に遊びは欠かせないが、長期入院の場合、病院は医療優先のためにバランスが難しい。本団体は保育士が中心になり、国立国際医療センターや国立がんセンターなどの小児病棟で、発達段階に応じた遊びのボランティアを行うことで、子どもと家族の生活の質の向上を図ってきた。また他団体の活動の立ち上げ支援も行い、病棟における保育の大切さを社会にアピールしながら、病気の子どもの子育てを社会の側から応援している。

助成1年目では、病棟で遊びのボランティアなどの通常活動を行いつつ、社会的支援の大切さを広く伝えた。この間144回の病棟訪問を行い、看護師たちと一緒に病棟の行事も企画実施した。またボランティア育成のために、スキルアップを目指した学習会も行った。普及広報活動では専門誌などへ実践報告を行うなど、充実した活動を行った。

2010年7月に病院の近くに独立した事務所を構えたことから、助成2年目では引き続き通常活動を進めつつ、新規事業「ハウス・グランマ」を立ち上げ、入院中・退院後の親子のサポート拠点として、ボランティアの集まる場所としての機能を整える。同時に新規事業を通じてスタッフを育成することで事務所機能と団体の継続性を高める組織基盤の強化にも取り組む。

本団体には20年余りの長い経験と実績があり、新たに活動を始める団体の支援や、病気の子どもの置かれている状況を広く社会に伝える役割が期待される。他団体や専門家との連携も行いながら、さらなるステップアップを期待して助成する。